

FANTIC RACING

ファンティック・レーシング・ニュース
2024年10月16日

完走9名！ Fanticのラリー＝ドウ＝モロッコ、目標完遂。



ファンティック・ファクトリーレーシングと、ラリープログラムを使用して参加した一般ライダーたち、合計9名は見事、ラリー＝ドウ＝モロッコを完走した。ファクトリー・ライダー、サンドラ＝ゴメスは体調不良と闘いながらも女性クラスの総合1位を確保、ジェレミー＝ミロイアも見事に高順位でラリーをまとめあげた。トマソ＝モンタナリは不運なクラッシュによってリタイアを余儀なくされたが、先の見通しは明るい。

モロッコでの1週間、ファンティック・ファクトリー・ラリーチームのジェレミー＝ミロイアは徐々に順位を上げ、最後のステージ5では総合11位、ラリー2クラスの7位を記録。最終順位は総合19位、ラリー2クラスの

11 位となった。



灼熱の気候に加え、雨の影響もあって予想よりもさらに厳しい舞台となった今年のラリー＝ドウ＝モロッコ。ファンティック・ファクトリー・ラリーチームにとってはダカールを前にした最高のテストの舞台となった。サンドラ＝ゴメスを加えた 3 名体制となったチームとしての公式戦参戦の初舞台となったモロッコでは、特にニューカマーであるゴメスが Fantic XEF450 Rally での初のラリー参戦にもかかわらず目覚ましい走りを魅せ、そのスピードと安定感はダカールでの活躍を大いに期待させるものとなった。彼女は日ごとにマシン

との対話を深め、チームの献身的なサポートもあって徐々に走りに磨きがかかり、5 つのステージのうち 4 つのステージでは総合 30 位以内に食い込む走りを魅せたのである。だが体調不良が彼女を襲い、最終の第 5 ステージでは走るのもやっとという状態だったが、それでもこらえて走りぬぎ、総合 35 位、ラリー 2 クラスでは 27 位という結果に結びつけたのだ。何よりも、女性ライダーとしてトップの成績を残したのである。

ファンティックにとってもう一つ重要なのは、始めて用意したレンタルプログラム、ファンティック・ラリーレイド・プロジェクトの成功だった。参加した 7 名のライダーが 1436 km ものスペシャルステージを含む合計 2000 km を超えるラリーを、ファンティック XEF450 Rally とともに乗り越え、フィニッシュラインにたどり着いたのだ。マシンをレンタルするだけでなく、ファンティックがサポートすることで走りに集中できるプログラム。中でもチリから参戦のトマス＝デ＝ガヴァルドは総合 30 位に入賞（ラリー 2 クラス 22 位）、アルゼンチンから参戦のカーラ＝スカジリオ＝ニは初のラリー参戦ながら女性として総合 2 位の結果を残すことになった。



9 台もの Fantic 450 Rally が完走したことで、ラリープロジェクトは大きな成功を収めたといってよいだろう。一方、ファクトリーライダーのトマス＝モンタナリは第 2 ステージでのクラッシュにより、リタイヤを余儀なくされてしまった。モンタナリは腰に打撲を負い、カサブランカの病院に担ぎ込まれることになったのである。検査の結果、幸運なことに骨折などは見当たらず、日を置かずしてイタリアに帰国する予定だ。

ジェレミー=ミロイア：このラリー=ドウ=モロッコでファンティック・チームが残した結果には本当に満足だよ！マシンも僕自身も日ごとに調子を上げて行くことができ、十分満足のいく結果だったと思っているんだ。この先さらにチームとともに準備を進めながら、ダカールに臨む予定だよ。応援ありがとう！



サンドラ=ゴメス：ラリー=ドウ=モロッコには過去 2 回ほど参戦してきましたが、ニューマシンである Fantic XEF450 Rally に乗り、ビッグ・チームとっていいファンティック・ファクトリー・チームとともに走りこむことができたことはこれまでとは全く異なる経験でした。マシンもチームも最高で、幾度となく助けてもらう結果になったのです。ラリー中に異なる部品のテストも行え、私自身、毎日のように走りが磨かれて行くことを感じながらマシンを前に進めて行くことができました。順位はもちろん、私自身がファンティックを確実に操ることができている自信も、毎日のように深めて行くことができたんです。ダカールに向けた最高の 1 週間だったと思います。でも、今日（最終日）は本当に厳しい一日でした。体調不良に襲われ、胃の調子は最悪で、でもあきらめたくなくてマシンを走らせました。それでも走行中に 2 回もマシンを止めざるを得ないくらい最悪で、途中で見つけた同じスペイン人のライダーに引っ張ってもらいながらの走行でした。フィニッシュから 10 km ほど手前でクラッシュを喫して、もう自分ではバイクを起こせないほど疲れ切って体力も削られてしまいましたが、他のライダーがマシンを起こしてくれたんです。彼らが応援してくれて、実際どうやったのかも覚えていないほどでしたが、何とかゴールにたどり着くことができました。とにかく完走したかった - チームと、私自身のためにも。この素晴らしい 1 週間を台無しにしたくなかったんです。私たちの努力は女性クラスの 1 位を獲得できたことで報われましたし、これが次へのモチベーションへとつながっています。



トマソ=モンタナリ：自分自身にとっても、ファンティック・チームにとっても、こんな終わり方をしてしまって残念でならないよ。1 年間かけてこのラリー、つまりモロッコと続くダカールのために準備してきたわけだからね。予定通りとはいかなかったことにはフラストレーションを禁じ得ないんだ。自分ではいいリズムをつかんで走っていたつもりだったし、決してプッシュしすぎてもいなかったと思うけど、クラッシュしてしまった。そう、こんなミスをしてしまうこともまたレースなんだ。不運だったけど、これもゲームの中のイベントってことなんだよね。あらゆる経験が僕を成長させてくれるわけだし、それはす



べて旅の一要素ということなんだと思う。イタリアに戻って体調を整え、ダカールでの復帰を目指していくよ。

マチルデ=トマギニーニ (ファンティック・ラリーレイド・プロジェクト・マネージャー) : 全体として今回のプロジェクトは大成功だったとっていいでしょう。ジェレミーはよくやったし、トマソも悪くなかったですね。何より、サンドラ=ゴメスは素晴らしいスピードを見せたと思います。不運にも激しい食あたりでたぶん彼女は昨夜、1時間も眠れていないはずですが、それでもなお、彼女は自らマシンにまたがろうとしたんです。そして、自らの力で、レースを最後まで走り切ることができました。驚くべき精神力を見せてくれましたし、本当にタフな女性ですよ。トマソのクラッシュは残念でしたけど、それ以外の90台のマシンすべてがフィニッシュラインを超えることができました。ファンティックにとってこれは記録すべき成功とっていいでしょうし、まさに目標を達成できたということですね。本当に満足していますよ。チームは素晴らしい働きを見せ、この新しいプロジェクトの中で初めての戦いにもかかわらず期待以上の結果となったとっていいでしょう。すべてのスポンサー、このプロジェクトへのサポーター、ファンの皆さんに心からの感謝をささげます。

フランコ=ピコ (ファンティック・ラリーチーム・マネージャー) : 不運なことは、トマソが2日目の早い時間にクラッシュしてラリーを終えてしまったこと。幸運だったのは、けがは大したことなく、ダカールには問題なく参加できそうなこと。一方で9人のライダーでレースは継続し、そのすべてがラリーを完走することができた。また、最終日のジェレミーの結果で見られるように、いくつかのステージでは目覚ましい走りを魅せることもできたと思う。女性クラスでワンツースをサンドラ=ゴメスとカーラ=スカジリオオーニの二人で手中に収めたことも素晴らしかった。ファンティックにとっては、ラリーレイドプログラムとして初のレースになったわけだが、スペイン、アルゼンチン、チリ、日本と色彩豊かな国々から得た参加者たちが、我々のサポートを受け無事にゴールにたどり着くことができたことは、ダカールに向けてこのプログラムのいいサインとなったことだろう。

